

出版案内

2020年10月31日発刊

よくわかる管路更生

Introduction to Pipe Rehabilitation

編著 よくわかる管路更生編集委員会

(委員長：前田 正博 日本大学 客員教授)

監修 (一社)日本管路更生工法品質確保協会

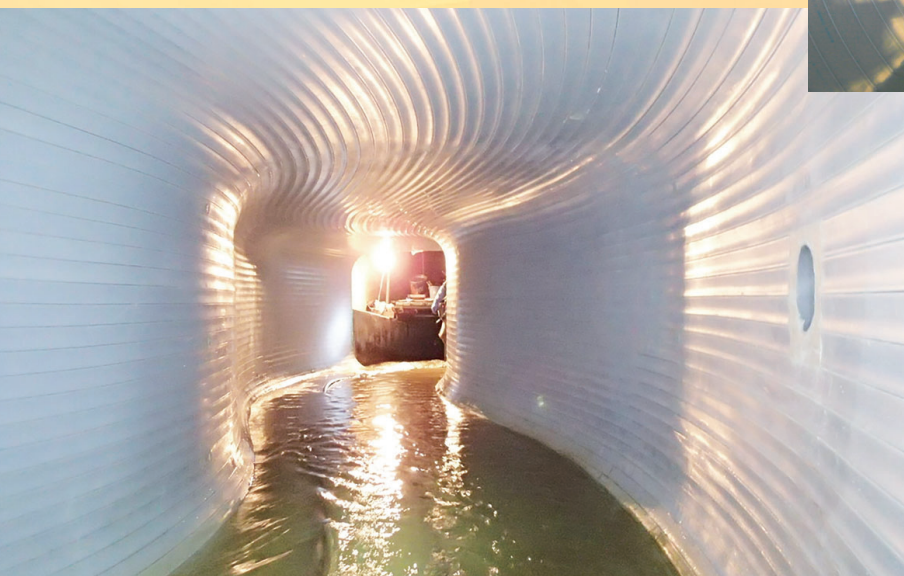
発行 (株)公共投資ジャーナル社

管路更生工法のしくみと
その基礎知識をわかりやすく解説！

はじめて下水道管路のメンテナンスや管路更生工法に携わる人に！

おもな内容 —

- インフラはメンテナンスとリニューアルの時代に
- 下水道管路の劣化メカニズム、影響と対策
- 管路更生工法の歴史と
わが国における発展と導入効果
- 更生材料の化学
- 更生管に作用する力
- 管路更生工法の分類/設計/施工管理/発注
- 人材育成・新技術



体裁 A5判・194ページ

価格 本体2,000円＋税

公共投資ジャーナル社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-19-2
TEL. 03-6721-5371 FAX. 03-6721-5373

よくわかる管路更生

・主要目次・

第①章 総論

- ▶都市の地下インフラ メンテナンスとリニューアルの時代 ▶NHKが取り上げた都市インフラの課題 ▶都市における管路の布設状況
- ▶下水道の老朽化が大きな問題に ▶長寿命化・ストックマネジメントへの取り組み ▶管路更生工法はどこが優れている? ▶管路更生工法の品質確保活動

第②章 管路の劣化とメンテナンス

- ▶下水道整備の経緯と管路延長 ▶下水道管の劣化と老朽管の増加 ▶劣化や老朽化に伴う問題点 ▶道路陥没のメカニズム ▶下水道管の劣化対策の経緯 ▶下水道管の劣化対策手法 ▶下水道管の劣化対策工法の分類 ▶適正な維持管理

第③章 管路更生工法の歴史と導入効果・実績

- ▶歴史① はじまりとわが国での進化 ▶歴史② 補修から本格的な改築・更新技術へ ▶適用範囲 ▶導入効果 ▶導入効果 詳細① コストと工期 ▶導入効果 詳細② 環境負荷 ▶施工実績と今後の見通し

第④章 更生材料の化学

- ▶管路更生に使われる材料 ▶プラスチックとは ▶熱・光硬化タイプの材料 ▶熱形成タイプの材料 ▶製管タイプの材料

第⑤章 更生管に作用する力

- ▶埋設管にはどんな外圧が作用する? ▶管路に働く土圧 ▶管路に働く活荷重 ▶管路に働く水圧 ▶管路更生工法で考慮する荷重 ▶地震時の埋設管への影響 ▶管路更生工法による耐震の考え方

第⑥章 管路更生工法の分類

- ▶さまざまな管路更生工法の種類と分類方法 ▶反転工法とは ▶形成工法とは ▶製管工法とは ▶さや管工法とは ▶工法選定にあたっての留意事項 ▶取付管更生工法

第⑦章 管路更生工法の設計

- ▶要求性能 ▶使用材料、適用条件 ▶自立管の設計① 設計手順 ▶自立管の設計② 常時の設計手法 ▶自立管の設計③ 耐震設計 ▶複合管の設計① 設計の考え方 ▶複合管の設計② 設計手順 ▶複合管の設計③ 断面の決定、照査 ▶複合管の設計④ 解析手法 ▶流下能力の評価



第⑧章 管路更生工法の施工管理

- ▶設計・施工にあたっての事前調査 ▶安全への配慮 ▶材料の品質管理 ▶認定工場制度とは ▶施工フローと実施内容 ▶現場硬化管の施工管理 ▶密着管の施工管理 ▶複合管の施工管理 ▶出来形管理① ▶出来形管理② ▶失敗事例に学ぶ ▶設計変更が必要となる事例

第⑨章 管路更生工法の発注

- ▶財源と発注形態 ▶発注仕様書の作成 ▶官民連携 (PPP/PFI) ▶技術者資格試験制度 ▶技術者資格試験制度の普及状況

第⑩章 人材育成・新技術等

- ▶管路更生大学 ▶eラーニング (オンライン講習) ▶最新技術動向① 管路維持管理 ▶最新技術動向② 下水道管からの下水熱利用技術 ▶管路更生工法に関する国際交流など ▶管路更生工法に関する規格・基準 ISO、JIS、ガイドライン

第⑪章 資料編

- ▶管路更生工法関係年表 ▶管路更生工法一覧 ▶管路更生工法の施工延長 ▶『下水道管路更生管理技士』資格の普及状況

購入申込書

よくわかる 管路更生

部

申込日 年 月 日

〔送付先ご住所〕	
〒	
TEL.	FAX.
〔貴社名〕	
〔ご所属〕	
〔ご担当者名〕	

■申込方法

お申し込みは郵便またはファクシミリ、E-mailで
小社商品は直接販売方式をとっています。この購入申込書を小社総務部宛てにお送りください。商品発送と同時に請求書をお送りいたします。代金は銀行振込または郵便振替にてご送金ください。

■申込先

公共投資ジャーナル社 総務部
〒105-0003
東京都港区西新橋2-19-2
TEL. 03-6721-5371
FAX. 03-6721-5373
E-mail. kt-j@kt.jp